

○ 優先交渉権者選定基準

3-2 資金調達方法

提案項目 記載必須項目	配点	評価基準				記載上の留意事項
		標準未満	標準 配点×0.6	良 配点×0.8	優 配点×1.0	
3. 収支計画・資金調達方法 (9点)	9					
3-2 資金調達方法						
①資金調達方法		「標準」を満たしていない。	応募企業又はコンソーシアム構員からの出資や金融機関等からの借入等が具体的かつ十分であり、安定性や継続性を保つための資金調達方法について、客観的に確実性が認められる。	複数の資金調達先を確保する等、資金調達の安定性及び継続性を確保するための工夫が明記されている。	「良」を上回る提案があった場合に、評価の対象とする。	① 資金の調達先、調達額、調達条件（金利等）を明確に記載すること。 ② 資金調達については、融資契約書等の添付等、その調達の確実性について証明する資料を添付することとし、当該添付資料については頁数制限に含まない。
②資金調達の確実性	3					

○ 提案書査査書類の比較

提案項目	提案内容		Aコンソーシアム	Bコンソーシアム	Cコンソーシアム																																																																																																									
3. 収支計画・資金調達方法 (9点)																																																																																																														
3-2 資金調達方法																																																																																																														
①資金調達方法	<p>1. 資金調達の概要</p> <p>-SPC設立費、運営費対価及び、改築工事が集中する2022年度から2028年度までの資金需要 [] 円に対し、構成員による出資 [] 円、金融機関からのプロジェクトファイナンス [] 円の資金調達を実施。</p> <p>-事業期間中の自己資本比率は30%以上を維持し、また災害時などの急な資金需要として最大14億円を見込んでおり、最低現預金4億円に加えて地元金融機関Aによる [] 円のコミットメントラインを設定。</p> <p>2. 主要な借入条件（プロジェクトファイナンスの主要条件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>借入先</th> <th>借入金額</th> <th>借入時期</th> <th>借入期間</th> <th>借入利率</th> <th>返済方法</th> <th>金利固定化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地元金融機関A</td> <td>[] 円</td> <td>2022年3月</td> <td>20年間</td> <td>全銀協 TIBOR6ヶ月</td> <td>元利不均 ヶ月+等返済</td> <td>[]</td> </tr> <tr> <td>構成員G</td> <td>(プロジェクト ファイナンス)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3. コミットメントラインの設定条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>借入先</th> <th>最大借入金額</th> <th>借入利率</th> <th>コミットメント费率</th> <th>返済方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地元金融機関A</td> <td>[] 円</td> <td>TIBOR6ヶ月</td> <td>未使用残高</td> <td>[]</td> </tr> </tbody> </table>	借入先	借入金額	借入時期	借入期間	借入利率	返済方法	金利固定化	地元金融機関A	[] 円	2022年3月	20年間	全銀協 TIBOR6ヶ月	元利不均 ヶ月+等返済	[]	構成員G	(プロジェクト ファイナンス)						借入先	最大借入金額	借入利率	コミットメント费率	返済方法	地元金融機関A	[] 円	TIBOR6ヶ月	未使用残高	[]	<p>1. 資金調達の概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資金使途</th> <th>資金調達</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運営費対価</td> <td>10億円</td> </tr> <tr> <td>構立金</td> <td>16億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ターンオーバー</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>165億円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>165億円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 主要な借入条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>アレンジャー</th> <td>[]</td> </tr> <tr> <th>最大貸付枠</th> <td>[]</td> </tr> <tr> <th>適用金利</th> <td>[]</td> </tr> <tr> <th>返済計画</th> <td>[]</td> </tr> <tr> <th>金利スワップ</th> <td>[]</td> </tr> <tr> <th>期限前弁済</th> <td>[]</td> </tr> </thead> </table>	資金使途	資金調達	運営費対価	10億円	構立金	16億円		ターンオーバー					合計	165億円	合計	165億円	アレンジャー	[]	最大貸付枠	[]	適用金利	[]	返済計画	[]	金利スワップ	[]	期限前弁済	[]	<p>1. 資金調達の概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資金調達手段</th> <th>開始期間</th> <th>1年目</th> <th>2年目</th> <th>3年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出資金</td> <td>8億円</td> <td>12億円</td> <td>12億円</td> <td>12億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3億円</td> <td>13億円</td> <td>0億円</td> <td>0億円</td> </tr> <tr> <td>ターンオーバー</td> <td>19億円</td> <td>33億円</td> <td>27億円</td> <td>27億円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>29億円</td> <td>58億円</td> <td>39億円</td> <td>39億円</td> </tr> <tr> <td>累計合計</td> <td>29億円</td> <td>87億円</td> <td>126億円</td> <td>165億円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 主要な借入条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>借入形態</th> <th>ターンオーバー</th> <th>改築ローン(※1)</th> </tr> <tr> <th>借入金額</th> <td>[]</td> <td>改築額10億円</td> </tr> <tr> <th>資金使途</th> <td>[]</td> <td>上水・工水の改築資金のうち残存 価値相当額部分</td> </tr> <tr> <th>借入期間</th> <td>[]</td> <td></td> </tr> <tr> <th>返済方法</th> <td>元利不均等返済</td> <td></td> </tr> <tr> <th>利率</th> <td>[]</td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>3. 代表企業による融資枠の設定</p> <p>10億円を設定し、全事業期間にわたり維持（条件については記載なし）</p>	資金調達手段	開始期間	1年目	2年目	3年目	出資金	8億円	12億円	12億円	12億円		3億円	13億円	0億円	0億円	ターンオーバー	19億円	33億円	27億円	27億円	合計	29億円	58億円	39億円	39億円	累計合計	29億円	87億円	126億円	165億円	借入形態	ターンオーバー	改築ローン(※1)	借入金額	[]	改築額10億円	資金使途	[]	上水・工水の改築資金のうち残存 価値相当額部分	借入期間	[]		返済方法	元利不均等返済		利率	[]	
借入先	借入金額	借入時期	借入期間	借入利率	返済方法	金利固定化																																																																																																								
地元金融機関A	[] 円	2022年3月	20年間	全銀協 TIBOR6ヶ月	元利不均 ヶ月+等返済	[]																																																																																																								
構成員G	(プロジェクト ファイナンス)																																																																																																													
借入先	最大借入金額	借入利率	コミットメント费率	返済方法																																																																																																										
地元金融機関A	[] 円	TIBOR6ヶ月	未使用残高	[]																																																																																																										
資金使途	資金調達																																																																																																													
運営費対価	10億円																																																																																																													
構立金	16億円																																																																																																													
	ターンオーバー																																																																																																													
合計	165億円																																																																																																													
合計	165億円																																																																																																													
アレンジャー	[]																																																																																																													
最大貸付枠	[]																																																																																																													
適用金利	[]																																																																																																													
返済計画	[]																																																																																																													
金利スワップ	[]																																																																																																													
期限前弁済	[]																																																																																																													
資金調達手段	開始期間	1年目	2年目	3年目																																																																																																										
出資金	8億円	12億円	12億円	12億円																																																																																																										
	3億円	13億円	0億円	0億円																																																																																																										
ターンオーバー	19億円	33億円	27億円	27億円																																																																																																										
合計	29億円	58億円	39億円	39億円																																																																																																										
累計合計	29億円	87億円	126億円	165億円																																																																																																										
借入形態	ターンオーバー	改築ローン(※1)																																																																																																												
借入金額	[]	改築額10億円																																																																																																												
資金使途	[]	上水・工水の改築資金のうち残存 価値相当額部分																																																																																																												
借入期間	[]																																																																																																													
返済方法	元利不均等返済																																																																																																													
利率	[]																																																																																																													

提案項目	提案内容		
	Aコンソーシアム	Bコンソーシアム	Cコンソーシアム
コメント	<p>Aコンソーシアム</p> <ul style="list-style-type: none"> S P C設立費、運営権対価及び改築工事が集中するR10年度までの資金需要 [] 円に対し、構成員による出資 [] 円、金融機関からのプロジェクトファイナンス [] 円の資金調達を実施。 自己資本比率は、事業期間を通じて常に30%以上を維持。 コミットメントライン極度額 [] 円の設定。 借入の元利不均等返済。 <借入金の返済> <p>Bコンソーシアム</p> <ul style="list-style-type: none"> リボルビング型コミットメントライン [] 円の設定。 <借入金の返済> 		<p>Cコンソーシアム</p> <ul style="list-style-type: none"> R6年度までの資金需要165億円に対し、構成員による出資44億円、[] の資金調達を実施。 自己資本比率は、事業期間を通じて概ね30%程度を維持。 外部借入による必要資金の調達は全てS P Cが行い、[] 代表企業による10億円の融資枠の設定。 タームローンの元利不均等返済。 代表企業の運用力を前提とした資金調達計画となっている。代表企業の格付けは、(株)格付投資情報センターで「A」である。 <借入金の返済>
②資金調達の確実性	<ul style="list-style-type: none"> 財務体力の高い構成員による出資 主要構成員の財務健全性の高さ 地元金融機関Aと構成員Gからの融資確約書を取得済み その他金融機関からも融資にかかるる関心表明書を取得済み 融資確約済み。 		<ul style="list-style-type: none"> 構成員による出資 金融機関からの融資確約書を取得済み 地元銀行及び官民インフラファンドからシンジケートへの参加に係る関心表明書を取得済み
コメント			<ul style="list-style-type: none"> 融資確約済み。 出資確約書は無いが、全社出資に関する機関決定済み。